

第 61 回 AIST・筑波大学・TCI ベンチャー技術発表会のお知らせ

主催 筑波大学・産業技術総合研究所・(株)つくば研究支援センター

筑波研究学園都市の大学・研究所・地元ベンチャー企業等の技術交流及び活性化を目的とし、AIST/筑波大学/TCIベンチャー技術発表会を下記要領にて開催いたします。

- 1 日時 平成28年7月20日(水) 14:00~15:00
- 2 場所 つくば研究支援センター 研修室B (つくば市千現2丁目1番6)

Program

午後2時00分から2時30分

真っ暗闇でも、カラー撮影で安心・安全

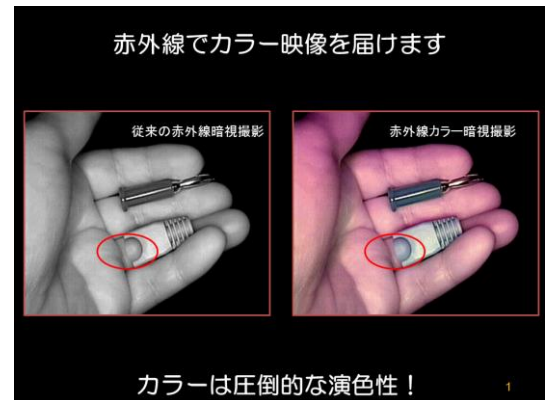
可視光以外は見えないので「色」とは関係ないと思われてきました。しかし、赤外線領域に「色」の情報があることを見出し、これを取り出してカラー画像とすることに成功しました(特許登録済み)。具体的には、可視光と近赤外光の反射強度の相関関係を発見し、近赤外線のみでカラー画像を実現しています。

従来の暗視カメラはモノクロ撮影でしたが、今回開発したカラー暗視技術は真っ暗闇でも鮮明な映像を届けることができるため、防犯カメラ、車載用カメラ、インフラ監視カメラ、医療・介護用監視カメラなど幅広い分野での応用が期待されています。

私たちはカラー暗視技術で、安心・安全な生活の実現に寄与します。

発表者：株式会社ナノルクス 代表取締役社長 祖父江 基史 氏

URL：<http://www.nanolux.co.jp/>



午後2時30分から3時00分

プロジェクションマッピングによる高精度立体地質模型

全国の博物館では地形や地質、防災に関する展示が行われています。しかしながら、専門的なトレーニングを受けた経験が無ければ、地形図の等高線から立体的な地形をイメージしたり、地質図から地層の積み重なりと地形との関わりを想起したりする作業は困難です。

こうした問題に対処するため、当研究所では三次元造型とプロジェクションマッピングを駆使し、地形と地質の分布を直感的に視認できる精密な立体地質模型を開発しました。この模型は博物館やジオパークなどでの普及を進めているほか、プロ向けの研究支援ツールとしての利用も提案しております。

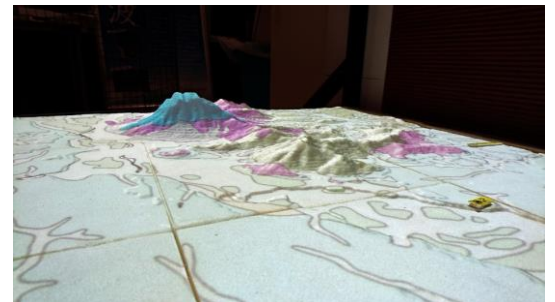
今回の発表では、筑波山~つくば市周辺の大型模型を展示し、研究学園都市の歴史や地質について紐解いてみます。

発表者：地球科学可視化技術研究所株式会社

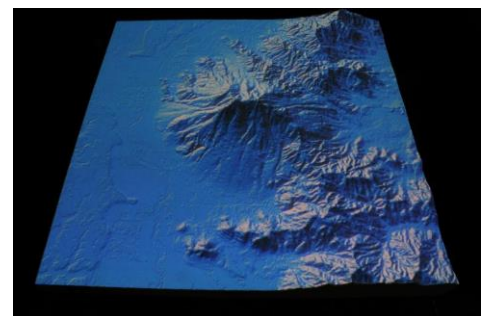
代表取締役社長 芝原 暁彦 氏 (産総研 地質標本館)

取締役 大道寺 覚 氏 (株)シムラ精密地形模型 代表)

URL：7月初旬に公開



筑波山~霞ヶ浦周辺(1/24,250)。シームレス地質図(産業技術総合研究所地質調査総合センター)のプロジェクション。



筑波山(1/40,000)。地形陰影図の投影。プロジェクション。

■申込方法：会社名・所属・氏名・連絡先を

E-mail：sotaku@tsukuba-tci.co.jp までご連絡下さい。つくば研究支援センター 担当：石塚・後藤 TEL：029-858-6000